

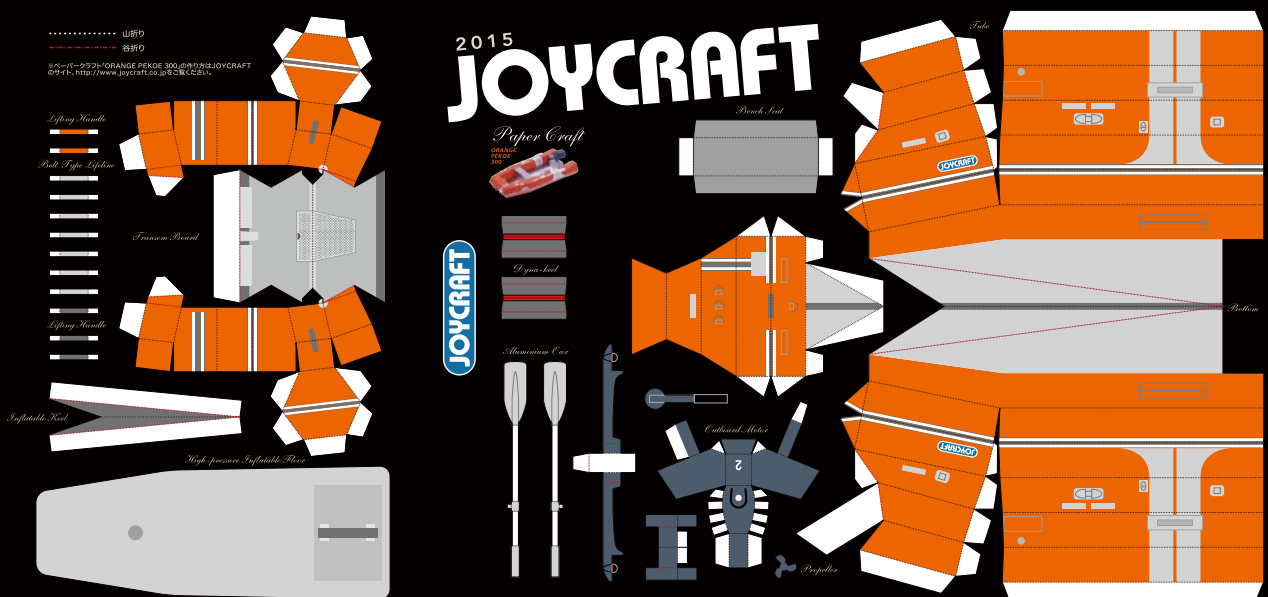
2015 JOYCRAFT カタログ 表紙 (表・裏) PAPER CRAFT ORANGE PEKOE 300

この度は、2015 JOYCRAFTカタログをお手に取っていただきましてありがとうございました。
この説明書を参考に、表紙(表・裏)すべてのパーツを組み立てていただくと、
紙で再現された「ジョイクラフト・オレンジペコ300」が完成いたします。
なお、組立説明書の最後には、PCからも同ペーパークラフトをダウンロードできるように、
カタログの表紙と同じパーツデータが添付されています。
こちらをご利用いただければ幸いです。

- 組立説明書：A4サイズ5枚
- ペーパークラフト：A4サイズ2枚



※パーツデータのプリントアウトには、厚みのある用紙(官製はがき程度)をお勧めいたします。
また、原寸はA4サイズですが、B4やA3サイズなどに拡大してプリントアウトすると、より組み立てを楽に行うことができます。
※このパーツや船体の構造は、あくまでペーパークラフト用に作られたもので、実際のものとは異なります。
※本サイトの作例ではケント紙を使用しています。



始める前に

- ・用意する道具／はさみ、糊
※糊は乾きの早いスティックタイプがお勧めです。
- ・あると便利／デザインナイフ、定規、ピンセット
- ・制作のコツ／チューブの組み立て時など、連なる糊代(のりしろ)を貼るときは、先に貼ったのりしろがずれない程度に乾いてから次ののりしろを貼ると、形が崩れません。

作り方

① パーツの切り出し

- ・まず、すべてのパーツを切り出します。

② 折り目を入れる

- ・パーツの折れ線に沿って、定規などを使ってあらかじめ折り目を入れておきます。

③ 船尾の組み立て

[図1]

- ・まず六角形のパーツののりしろ(A～D)に、チューブ側面を順に貼っていきます。
- ・のりしろ(E)と(F)に糊を付けて、チューブ後端を完成させます。

[図2]

- ・トランスサムボードのパーツを中央で折って貼り合わせますが、このとき、図1ののりしろ(G)を挟み込みます。

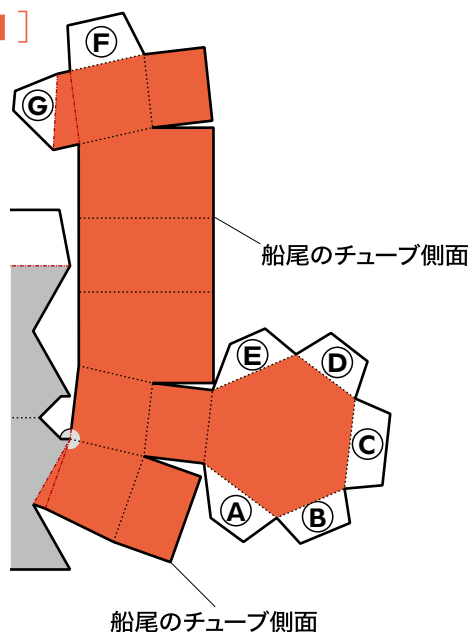
④ 本体の組み立て

- ・ボトムの山折り、谷折りでキールを形作ります。

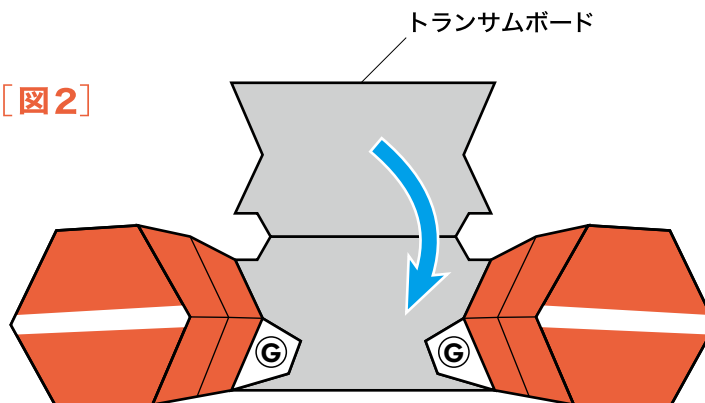
[図3]

- ・両舷のチューブを組み立てます。まず、右舷側のチューブののりしろ①～Lを順に貼ります。その後、左舷側ののりしろも同様に貼ります。

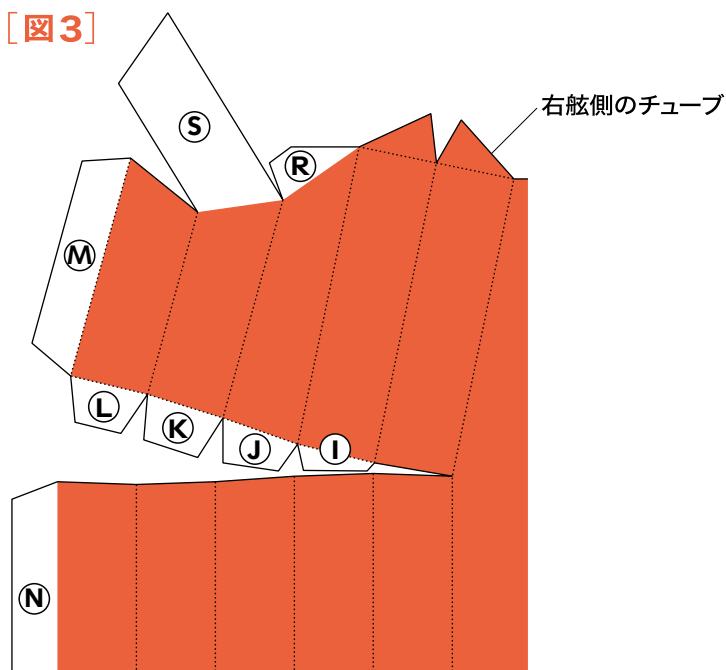
[図1]



[図2]



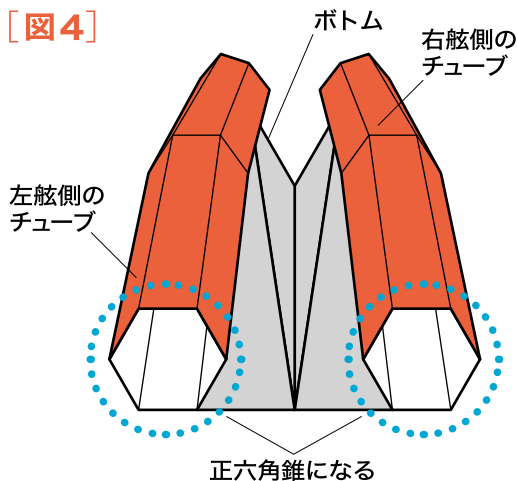
[図3]



[図4]

- ・右舷側のチューブののりしろ⑭、⑮を、チューブ底面のオレンジとボトムのグレーの境目に合わせて貼り付け、チューブを完成させます(船尾側から見て、チューブは正六角錐になります)。左舷側も同様です。ボトム側から光にかざし、貼り付ける位置を確認しましょう。

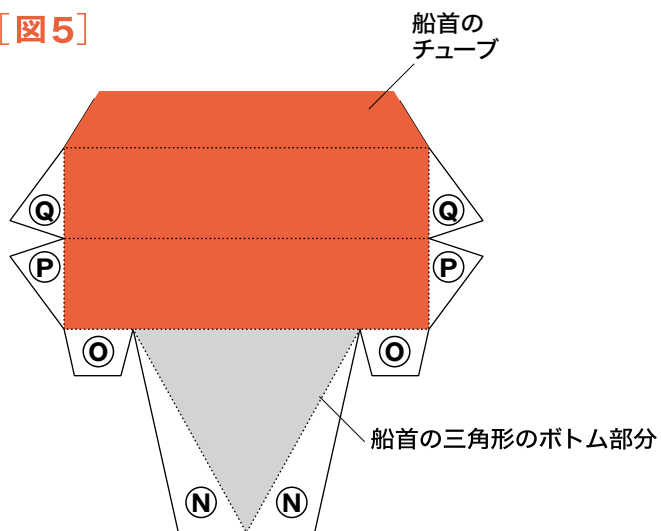
[図4]



[図5]

- ・バウ(船首)の三角形のボトム部分を、本体ボトムのVに合わせて、のりしろ⑮~⑯でつなぎます。
- ・片側ずつ、ボトムに近いのりしろ⑰から⑱と図3の⑱までを順に貼っていきます。
- ・のりしろ⑳を左舷側の相対するのりしろに貼り、こののりしろに図5の船首のチューブをかぶせて一片を貼ります。
- ・船首チューブパーツの下端を、左右のチューブと角度が合うように奥に押し込みます。

[図5]



⑤ 高圧エアフロアの組み立て

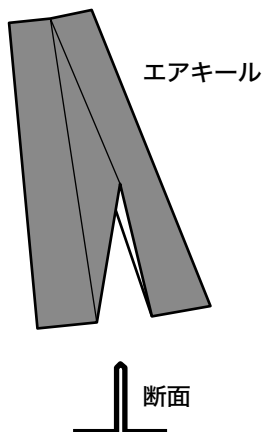
[図6]

- ・エアキールを断面が逆T字型になるように、中央で折って貼り合わせます。

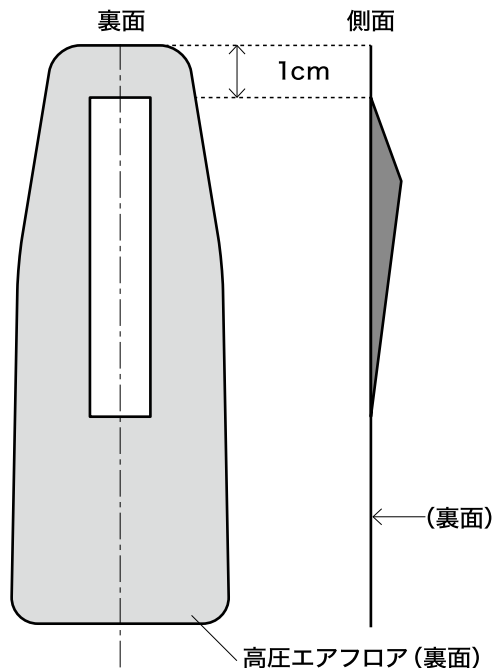
[図7]

- ・高圧エアフロアの裏面中央線に合わせ、先端から1センチは離して図6のエアキールを貼り付けます。

[図6]



[図7]

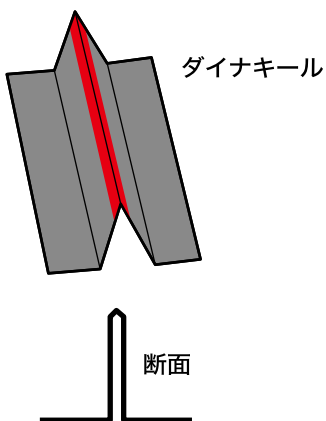


⑥ ダイナキールの取り付け

[図8]

- ・ダイナキールを断面が逆T字型になるよう、中央で折って貼り合わせます。これを二つ作ります。
- ・チューブの船尾寄り底面の、ダイナキール取り付け位置に貼り付けます。

[図8]



⑦ 高圧エアフロアの取り付け

- ・図7の高圧エアフロアを本体のチューブとボトムの間、エアキールを下にして後方から差し込みます。

⑧ 船尾部分の合体

- ・図2の船尾部分を本体に合体させます。船尾チューブを本体チューブに被せ、トランサムボードののりしろは、高圧エアフロアとボトムの間、に差し込みます。

⑨ 腰掛板の取り付け

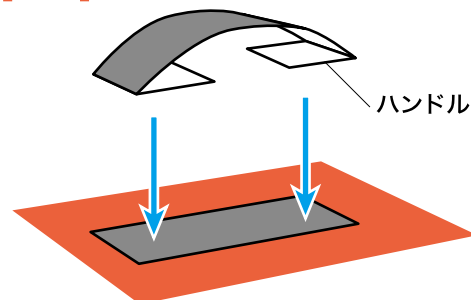
- ・腰掛板はグレーの部分を出し折りに合わせて重ね込み、のりしろでチューブに貼り付けます。

⑩ ハンドル類の取り付け

[図9]

- ・カタログ写真を参考にし、ハンドル類(リフティングハンドル及びベルト式ライフライン)を、それぞれの色が対応する位置に貼ります。

[図9]



⑪ オールの取り付け

- ・オールをオールロックの位置に合わせて両舷に貼り付けます。

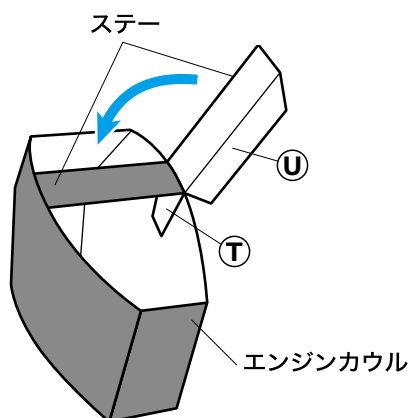
⑫船外機の組み立て、取り付け

- ・エンジンカウルの左右のパネルは、上面に沿って膨らむように貼ります。前後のパネルも同じようにして箱型に組み立てます。

[図10]

- ・カウル下面のステーを図10のように組み立てます。まず、のりしろ①のステーをカウル下面に橋を渡すように貼ります。次に、のりしろ②のステー裏面全体に糊を付け、①のステーを包み込みます。

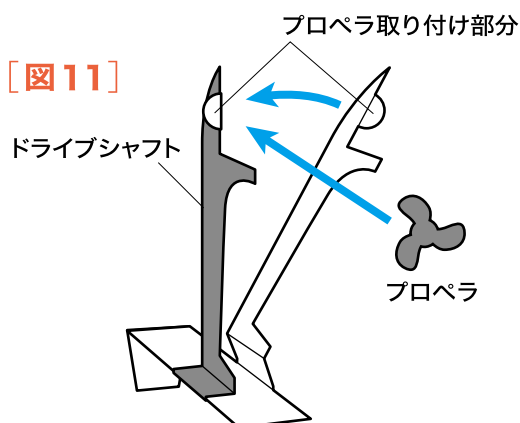
[図10]



[図11]

- ・ドライブシャフトのシャフト部分の裏面全体に糊を付け、図11のように貼り合わせます。プロペラ取り付け部分は円形に開き、プロペラを貼ります。

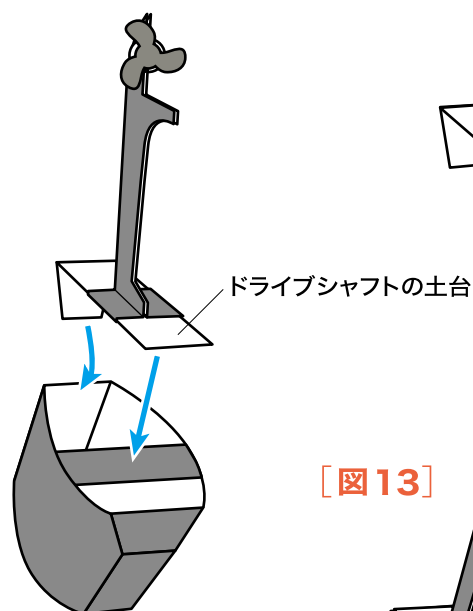
[図11]



[図12]

- ・ドライブシャフト土台前端的のりしろをカウル前パネルの内側に貼り、下面ステーには土台後端を貼り付けます。
- ・ティラーハンドルをカウル左側に貼ります。

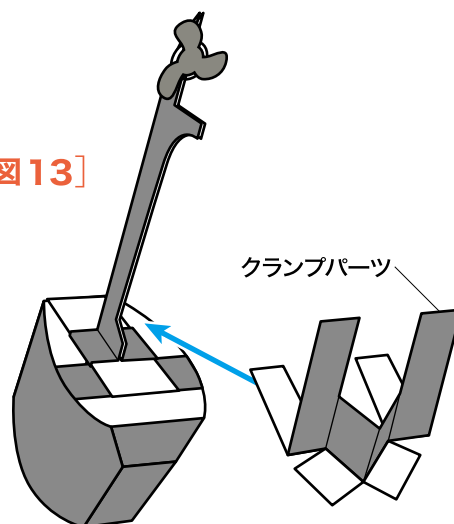
[図12]



[図13]

- ・ドライブシャフト上端を挟むようにクランプパーツを貼ります。

[図13]



- ・図13で作ったクランプパーツで本体のトランサムボードを上から挟み込むように貼って完成です。

[図14]

